

京都大学人文科学研究所

共同利用・共同研究拠点 公募研究プロジェクト

「グローバル化する思想・宗教の重層的接触と人文学の可能性」公開講演

講師 阿満利磨(明治学院大学名誉教授)

「エンゲイジド・ブッディズム の定義とその課題」

私のみるところ、「エンゲイジド・ブッディズム」は、国民国家がかかえる戦争と差別という二大悪に対して仏教ほどのようなスタンスをとるべきかが問われた段階と、その後グローバリズムの進行とともに生じてくる経済の問題をどのようにあつかうのか、という段階に分かたれるように思われる。

今回は、こうした「エンゲイジド・ブッディズム」をめぐる状況の違いに注目しながらその特質と課題を明らかにしてみたい。

コメンテーター

泉恵機(元大谷大学)

シルヴィオ・ヴィータ(イタリア国立東方研究所)

川橋範子(名古屋工業大学)

司会

奥山直司(高野山大学)

7月23日(土)

14:00-17:30

京都大学 人文科学研究所

本館3階 セミナー室4(331)